



効き目がスゴイ!
だからモーレッツ!



水稲用初・中期一発処理除草剤

モーレッツ

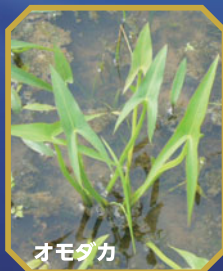
フロアブル

ピラクロニル 3.7%・ベンゾビスクロン 3.7%・ベンフレセート 9.2%

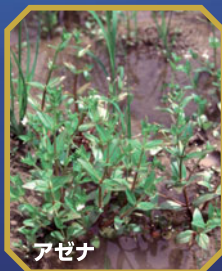
クログワイ、SU抵抗性雑草に優れた効果!!



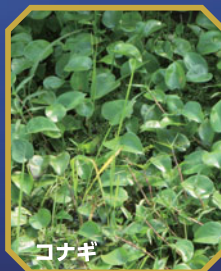
クログワイに強い!



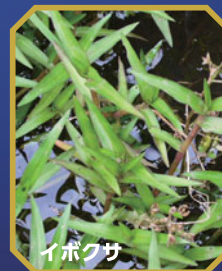
オモダカ



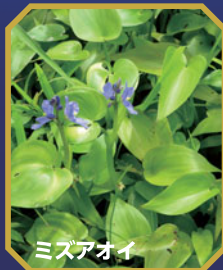
アゼナ



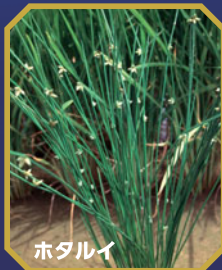
コナギ



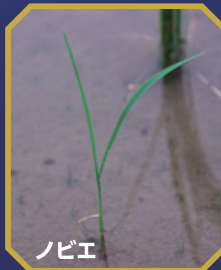
イボクサ



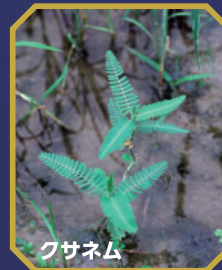
ミスアオイ



ホタルイ



ノビエ



クサネム

モーレツ

フロアブル

特長

1. ベンフレセート配合の非SU一発剤
2. 一年生雑草から多年生雑草まで幅広い効果
3. 特に、難防除のクログワイに対して優れた効果
4. SU抵抗性雑草に草種を問わず優れた効果
5. ホタルイに対して優れた効果
6. イボクサやクサネムなど特殊雑草に対して優れた効果



適用雑草の範囲及び使用方法

■ 有効成分:ピラクロニル 3.7% ベンゾピシクロン 3.7% ベンフレセート 9.2% ■ 人畜毒性:普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量(10a当り)	総使用回数*	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び多年生広葉雑草 エゾノサヤカグサ	移植後5日～ ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	500ml	本剤:1回 ピラクロニル剤: 2回以内 ベンゾピシクロン剤: 2回以内 ベンフレセート剤: 2回以内	原液湛水散布、 水口施用又は 無人航空機による滴下

*本剤及びそれぞれの有効成分を含む農業の総使用回数の制限を示す。

上手な使い方



⚠ 使用上の注意事項

- 貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振ってください。
- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ヘラオモダカ、エゾノサヤカグサは2葉期まで、ウリカワ、ミズガヤツリは3葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまでが本剤の散布適期です。コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のもので十分な効果を示さないもので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。オモダカ、クログワイは、必要に応じて有効な前処理剤または後処理剤と組み合わせで使用してください。
- 雑草害をもたらす栽培目的以外のイネの防除に使用する場合は、発生前に有効なので、散布適期を失しないように使用してください。また、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 1. 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)
 2. 軟弱な苗を移植した水田
 3. 極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田
- 水の出入りを止めて湛水状態で均一に散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 苗の植付けが均一となるように、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させてください。処理後田面水が通常の湛水状態(湛水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。
- 稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 本剤は、その殺草特性から、いぐさ、れんこん、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
- いぐさ栽培予定の水田では使用しないでください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤を無人航空機で滴下する場合は、次の注意を守ってください。
 1. 滴下は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 2. 滴下に当たっては散布装置のノズルを取り外してください。
 3. 作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他装置の十分な点検を行ってください。
 4. 隣接する圃場に水稲以外の作物が栽培されている場合は、無人航空機による本剤の滴下は行わないでください。
 5. 水源池、飲料水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
 6. 薬剤滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
 7. 本剤の滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水稲以外の作物への薬剤散布には使用しないでください。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないでください。
- 容器等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による滴下で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。● 使用量に合わせた秤量し、使いきってください。● 空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。● 防除日誌を記帳しましょう。

貯蔵上の注意事項

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で子供の手の届かない場所に密栓して保管してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。● 使用量に合わせた秤量し、使いきってください。
- 空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。● 防除日誌を記帳しましょう。

OAT アグリオ株式会社
<https://www.oat-agrio.co.jp/>
 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1

コールセンター: ☎0120-210-928 (9:00~12:00, 13:00~17:00)
土・日・夜をのぞく